



様式第5号（第5条関係）（用紙 日本産業規格A4縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地番)	菊川市加茂字東門2867番1	地目	畑	面積	628m ²
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中・ 工事後	土工	②、⑦	排水側溝に土砂が堆積し、排水の機能が低下する恐れがある。		小堤設置や、場内整地時の仮置土は、排水側溝から離れた位置に置く。 また、土堤防は道路境界線より50cm以上離れた場所に施工し、豪雨被害による土砂の排水側溝への流出防止に努める。		
工事後	排水路	⑦	排水側溝に土砂や落葉等が堆積し、排水の機能が低下する恐れがある。		年1回の保守点検、年2回の草刈り及び随時点検時に堆積の状態を確認し、機能の維持管理に努める。		

(注) 1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。

①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）

2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。